

年月日	22	07	26	ページ	19	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

CO₂削減でリース安く

SFLLダイヤモンド電機と契約

三井住友ファイナン
ス&リース(SMF
L)は、二酸化炭素
(CO₂)排出量削減
目標の達成でリース料
金を優遇する「サステ
ナビリティ・リンク・
リース(SLL)」の
対象範囲を生産設備な
ど一般リース物件にも
広げる。リース業界で
は従来、船舶や航空機
といった特定のリース
物件を対象にしたSLL
が主流だった。対象
を生産設備などに広げ
ることで中小企業もS
LLを活用した環境経
営ができるようにす
る。

第1弾としてダイヤ
モンド電機にリースす
る自動車部品製造設備
を対象とした5年間の
SLL契約を結んだ。
ダイヤモンド電機の
親会社であるダイヤモ
ンドエレクトリックホ
ールディングス(H
D)が設定した、事業
活動に伴うCO₂排出
量削減、CO₂削減に
寄与する自社製品の販
売目標に連動したCO₂
削減貢献量という二
つの指標をサステナビ
リティに設定。年1
回、この指標の状況を
把握し、目標を達成し
ていれば、通常より優
遇されたリース料金と
なる。



SLL契約を結んだダイヤモンド電機本社

今後、自動車や電機、
電子部品など、
あらゆる業界で
CO₂削減に向け
り組む企業向け
にSLLを進め
る。
サステナブル
(持続可能性)
関連ビジネス
で、2020年
度までに累計1
兆円の契約を目
指す目標達成に
つなげる。

日本総合研究所が第
三者評価機関としてサ
ステナビリティ・リン
ク・ローン原則に基づ
いたSPTsの設定や
評価を行う。
SFLLは21年に船
舶のCO₂削減実績に
応じて料金が変動する
SLLを展開。同社は